

# 大阪経済の情勢

(平成25年9月指標を中心に)

平成 25 年 11 月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチセンター)

## 「大阪経済は、着実に持ち直している」

**需要面**では、個人消費は持ち直している。大型小売店販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売、すべてで増加した。家計消費支出は減少。投資では、住宅投資、非居住用建設投資はともに増加し、設備投資は持ち直しの動きがみられる。公共投資は増加。輸出は持ち直し傾向にある。輸出額は7ヶ月連続で増加し、主要国向けではすべての地域で増加。輸入額は9ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空は減少し、大阪港は増加。

**供給面**では、生産動向は持ち直している。大阪府(8月)は、生産、出荷ともに低下。近畿の生産(8月)は上昇、全国の生産(9月)は上昇。在庫循環は在庫調整・在庫減らし局面。雇用は持ち直している。所定外労働時間は増加し、近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。倒産は、件数・負債金額ともに悪化。

**先行き**については、景気動向指数(先行)は低下。今後は、海外経済の動向や、原材料価格、消費者物価の動向について、引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・貨物	
	総合 一致CI(大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (近畿)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空取扱 貨物量
9月		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓
8月	↓	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↓

		供給				その他	
		生産		雇用		倒産	観光
	生産 (大阪)	生産 (全国)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	倒産件数* (大阪)	関空外国人 旅客	
9月		↑	→	↑	↓	↑	
8月	↓	↓	↑	↑	↓	↑	

※前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

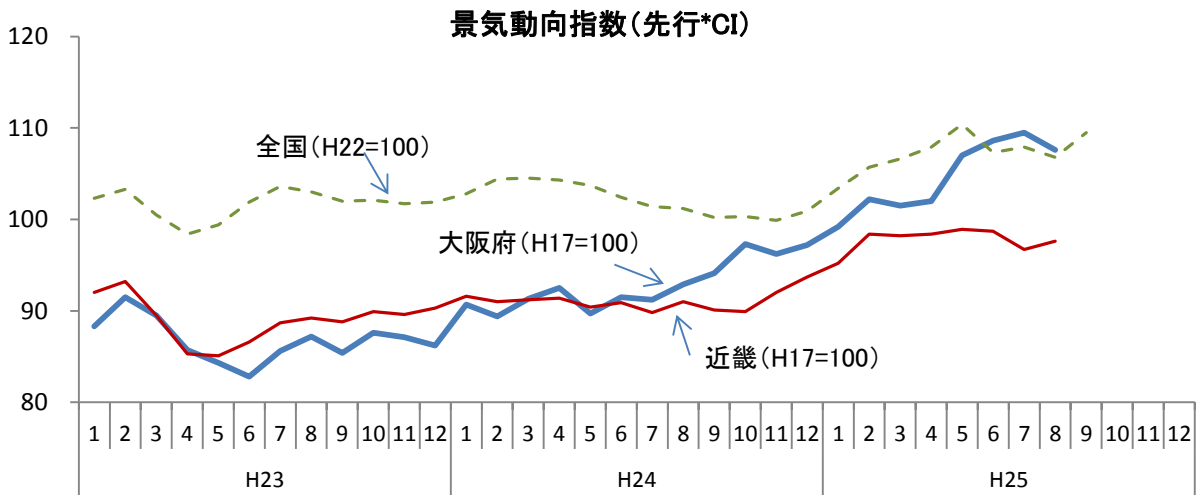
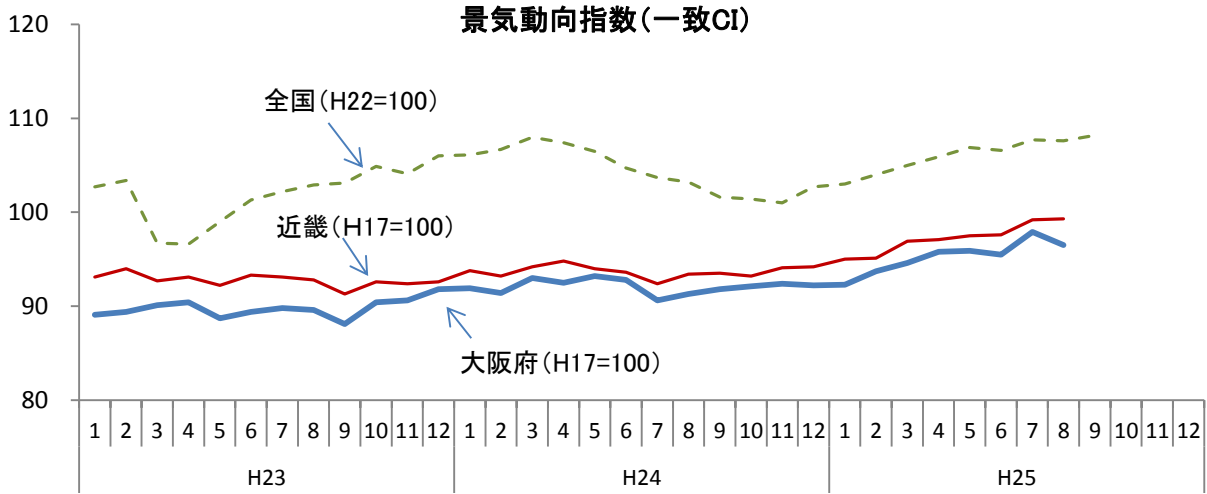
(参考)他機関の総括判断

	前回(25年9月公表分) (25年7月指標中心)	今回(25年10月公表分) (25年8月指標中心)
<a href="#">内閣府</a> <a href="#">「月例経済報告」</a>	景気は、緩やかに回復しつつある。	景気は、緩やかに回復しつつある。
<a href="#">近畿経済産業局</a> <a href="#">「近畿経済の動向」</a>	近畿地域の経済は、持ち直している。	近畿地域の経済は、持ち直している。
<a href="#">日本銀行大阪支店</a> <a href="#">「近畿地域金融経済概況」</a>	近畿地域の景気は、着実に持ち直している。	近畿地域の景気は、緩やかに回復している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(8月)は一致CI、先行CIともに低下。近畿(8月)は一致CI、先行CIともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「生産財出荷指数」「関西大口電力電力使用量」「製造工業生産指数」が低下に寄与。全国(9月)の一致は上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」  
 ※先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致CI

	H25年7月	8月	9月
大阪府	97.9	P 96.5	
近畿	99.2	P 99.3	
全国	107.7	107.6	P 108.2

先行CI

	H25年7月	8月	9月
大阪府	109.5	P 107.6	
近畿	96.7	P 97.6	
全国	107.9	106.8	P 109.5

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、8月速報)

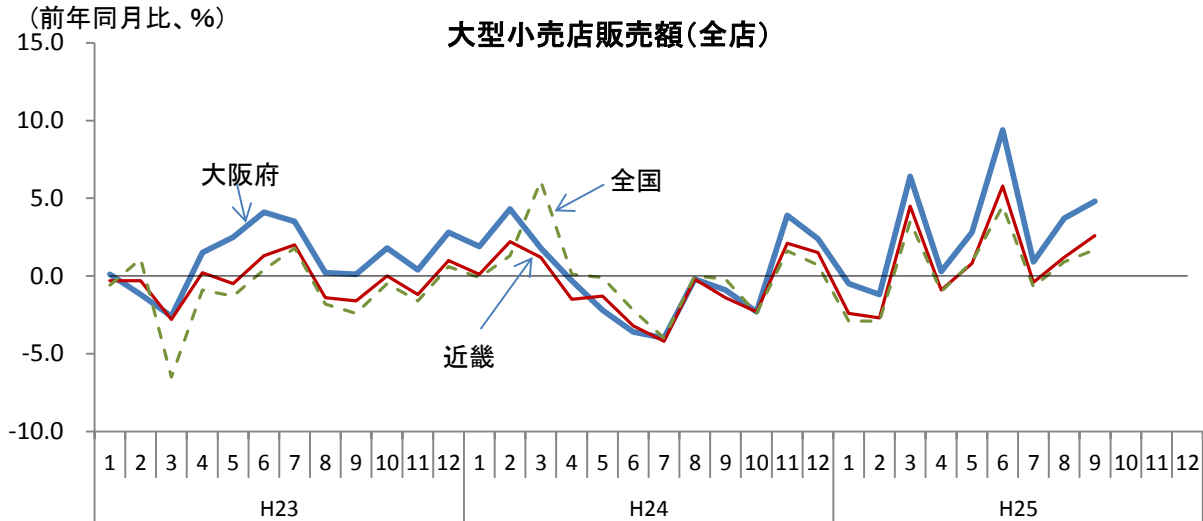
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	関西大口電力 使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.45	▲0.27	▲0.52	▲0.79	▲0.53	0.16	0.13

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は持ち直している。大型小売店販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売、すべてで増加した。家計消費支出は減少。

### ○大型小売店販売額(全店)【大阪府は7ヶ月連続の増加。大阪府の百貨店販売額は11ヶ月連続の増加。】



(資料) 近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

#### 大型小売店販売額(全店)

		H25年7月	8月	9月
販売額(億円)	大阪府	1,552	1,352	P 1,323
前年比(%)	大阪府	0.9	3.7	P 4.8
	近畿	▲0.4	1.2	P 2.6
	全国	▲0.7	0.9	P 1.7

#### 大型小売店販売の商品別の主な増減

(大阪府、全店、前年同月比(%)、9月速報)

増加	身の回り品(15.0)、衣料品(6.7)、食堂・喫茶(6.4)、家具・家電・家庭用品(3.6)、飲食料品(3.1)、
減少	—

#### 百貨店(大阪府)

		H25年7月	8月	9月
販売額(億円)		827	631	P 646
前年比(%)		2.4	8.3	P 8.6

#### スーパー(大阪府)

		H25年7月	8月	9月
販売額(億円)		725	721	P 677
前年比(%)		▲0.7	▲0.0	P 1.5

#### 大阪府内大型小売店へのヒアリングより(9月)

9月は、ファッション関連の定価品の動きが鈍く、軒並み苦戦した。中旬までは気温が低く、秋物の衣料品が活発に動いたが、後半は気温の上昇や台風の到来などもあり、夏のバーゲン品を除いてやや失速した。

一方、時計、ブライダル関連の宝石、バッグなどの高額品が引き続き好調で、富裕層の購買力の高さがうかがえる。宿泊施設では、円安基調などを追い風に外国人観光客の増加が著しく、7~9月期は宿泊人数が3割増の企業もみられた。

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は7ヶ月連続の増加。】

		H25年7月	8月	9月
販売額(億円)	近畿	1,305	1,298	P 1,191
前年比(%)	近畿	5.0	3.8	P 3.9
	全国	4.8	4.3	P 3.8

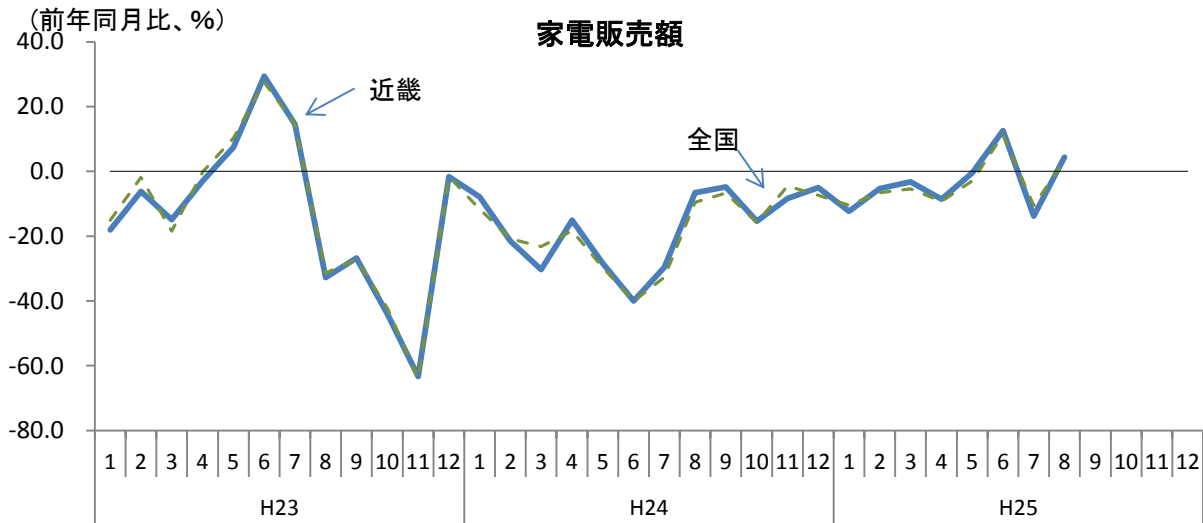
### ○家計消費支出【大阪市は2ヶ月連続の減少。】

		H25年7月	8月	9月
円	大阪市	350,742	280,121	269,634
前年比(%)	大阪市	16.0	▲6.9	▲19.7
	全国	▲0.7	0.6	5.2

(資料) 総務省統計局「家計調査」 ※二人以上の世帯うち勤労者世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【近畿(8月)は2か月ぶりの増加。「エアコン」「冷蔵庫」などが前年を上回った。】



(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

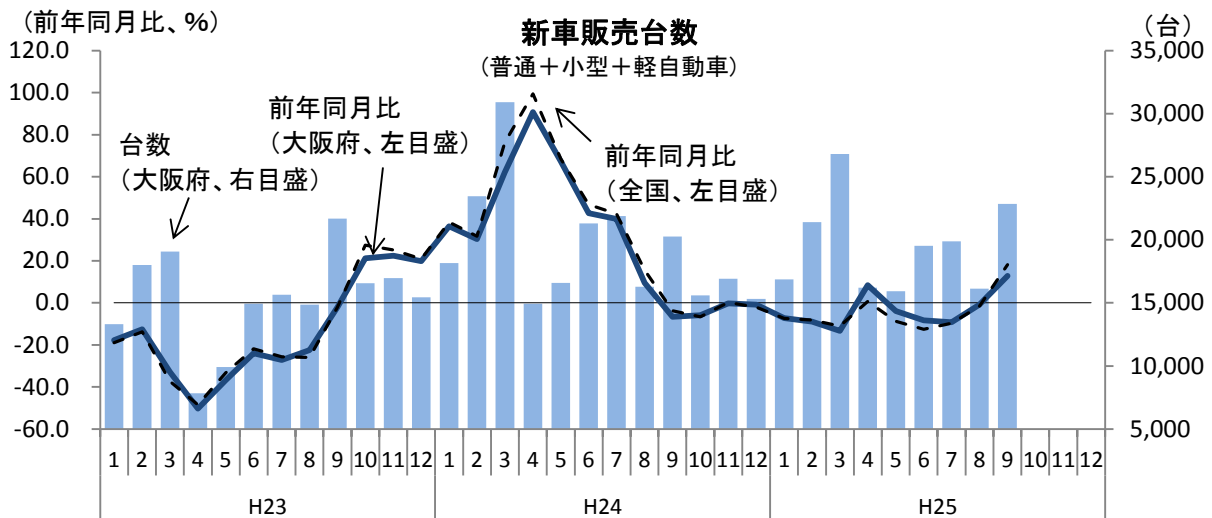
※平成23年4月分よりデータ集計対象企業が変更されたため、前後のデータと連続しない。

#### 商品別の主な増減(近畿、8月)

		H25年7月	8月	9月
前年比 (%)	近畿	▲13.8	4.4	
	全国	▲10.5	3.3	

「携帯電話」(前年同月比27.4%減)が前年を下回ったものの、「エアコン」(同28.3%増)、「冷蔵庫」(同6.1%増)などが前年を上回った。

### ○新車販売台数【5ヶ月ぶりの増加。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		H25年7月	8月	9月
販売額(台)	大阪府	19,873	16,135	22,849
前年比 (%)	大阪府	▲9.2	▲0.9	12.8
	全国	▲9.7	▲1.6	18.1

#### 車種別の増減

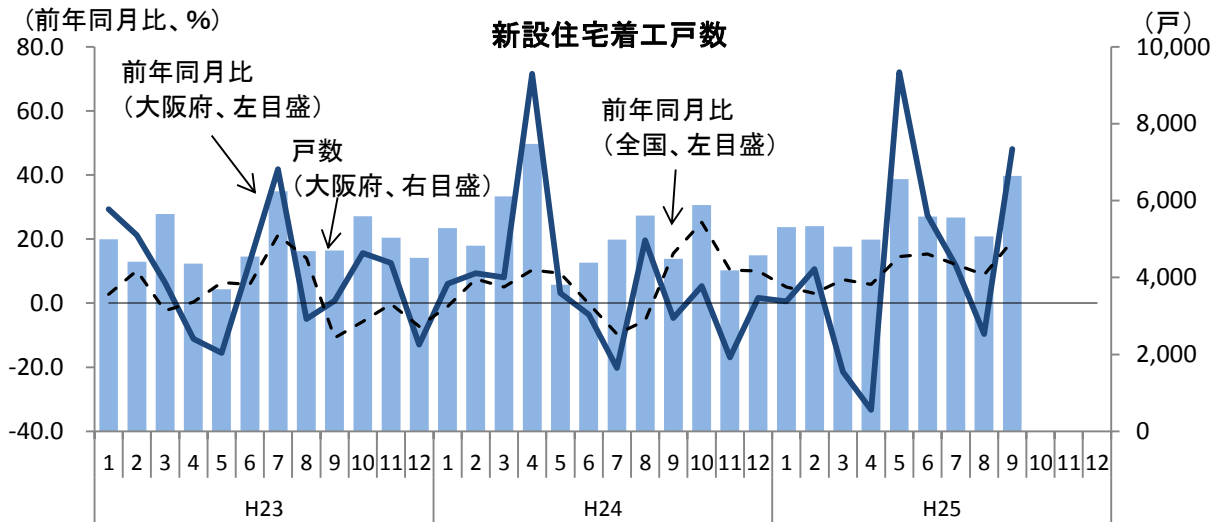
(大阪府、前年同月比(%)、9月)

普通車	小型車	軽自動車
15.8	▲0.8	28.2

## [需要] 投資

投資では、住宅投資、非居住用建設投資はともに増加し、設備投資は持ち直しの動きがみられる。公共投資は増加。

### ○新設住宅着工戸数【2ヶ月ぶりの増加。】

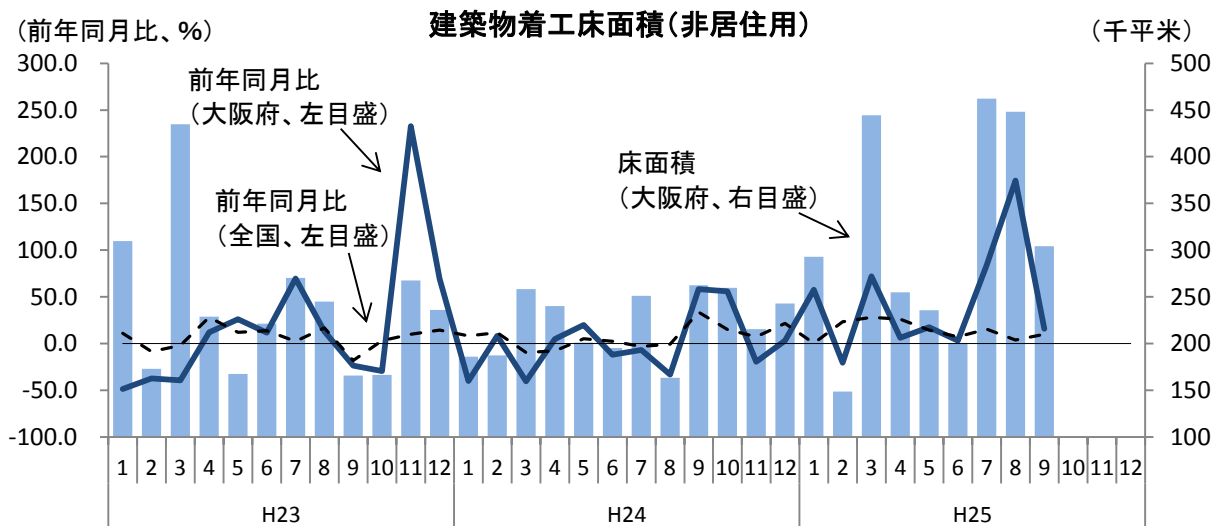


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		H25年7月	8月	9月
戸数	大阪府	5,560	5,069	6,639
前年比 (%)	大阪府	11.6	▲9.6	48.1
	全国	12.0	8.8	19.4

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%))、9月)		
持家	貸家	分譲
6.1	59.0	64.4

### ○建築物着工床面積(非居住用)【大阪府は8ヶ月連続の増加。「製造業用」などが増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

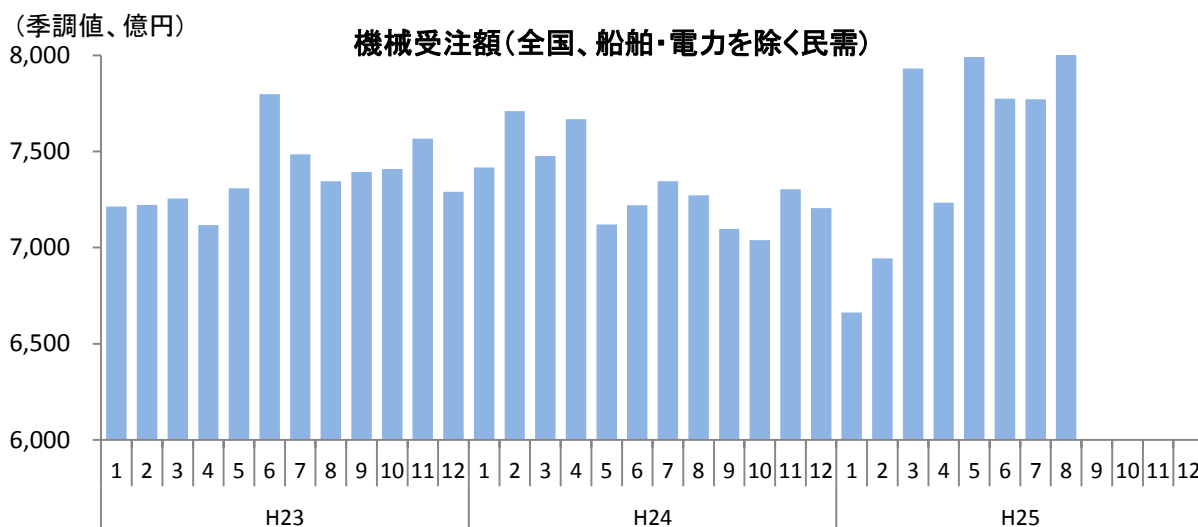
		H25年7月	8月	9月
千 m <sup>2</sup>	大阪府	462	448	304
前年比 (%)	大阪府	84.1	174.3	15.9
	全国	15.3	3.7	9.8

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、9月)	
増加	製造業用(27.4)
減少	医療・福祉用(▲19.0)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## [需要] 投資

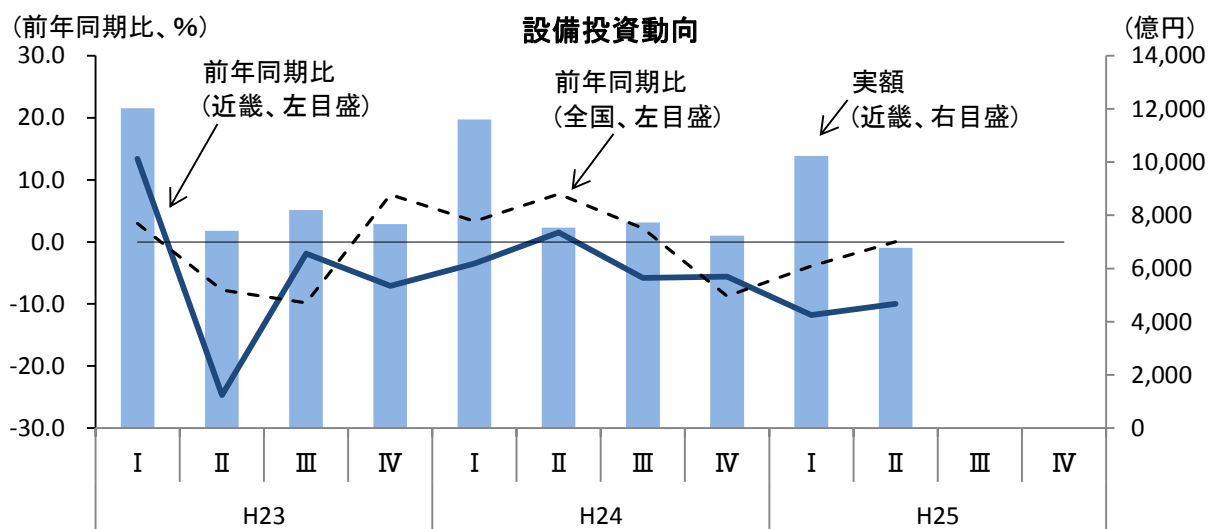
○機械受注額【8月(全国)は増加。「金融業・保険業」、「運輸・郵便業」が増加に寄与。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	H25年7月	8月	9月
全国(億円)	7,772	8,193	

○近畿の設備投資動向【4~6月期は減少。非製造業は増加したが、製造業の減少により、全産業合計で減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		H24年10~12月	H25年1~3月	4~6月
億円	近畿	7,238	10,237	6,778
前年同期比(%)	近畿	▲5.6	▲11.8	▲10.0
	全国	▲8.7	▲3.9	0.0

○公共工事請負金額【6ヶ月連続の増加。】

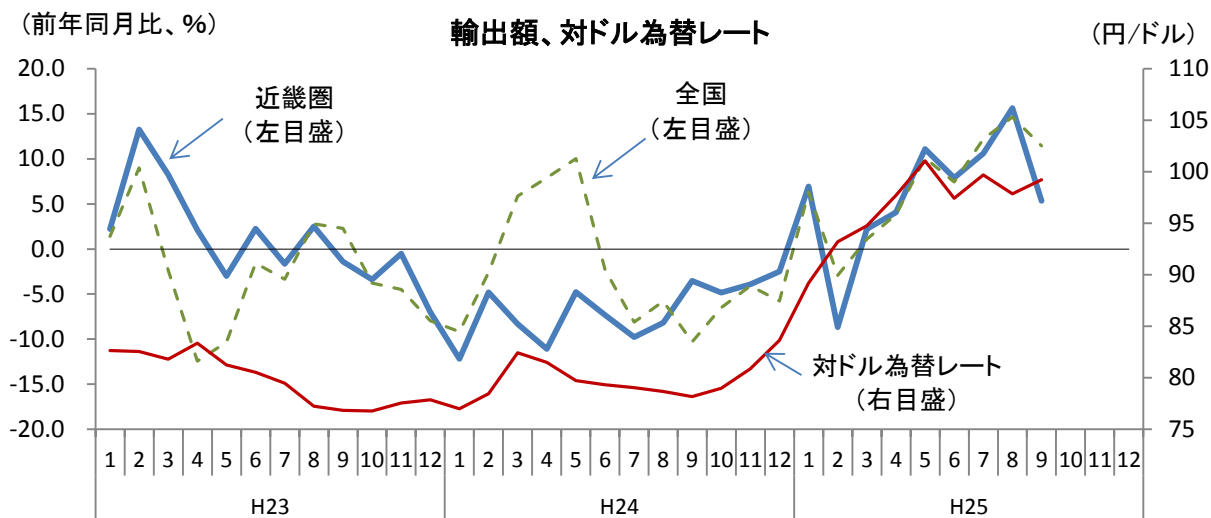
		H25年7月	8月	9月
億円	大阪府	398	266	356
前年比(%)	大阪府	17.0	19.8	38.8
	全国	29.4	7.9	29.4

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

## [需要] 貿易・貨物

輸出は持ち直し傾向にある。輸出額は7ヶ月連続で増加し、主要国向けではすべての地域で増加。輸入額は9ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空は減少し、大阪港は増加。

○輸出額【7ヶ月連続の増加。「有機化合物」、「事務用機器」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域で増加。】



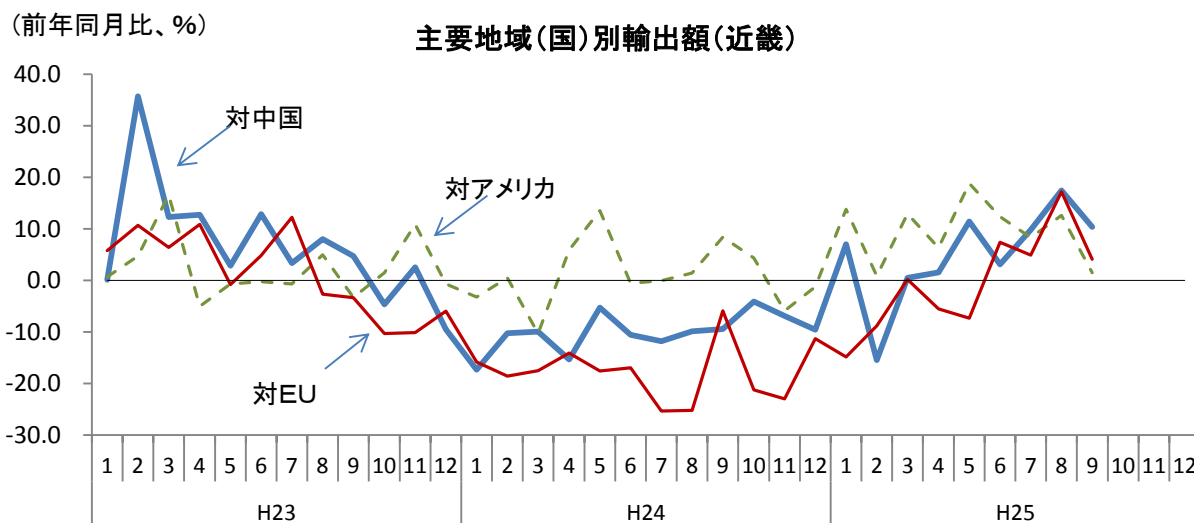
(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		H25年7月	8月	9月
輸出額(億円)	近畿	12,430	12,567	P 12,547
前年比 (%)	近畿	10.6	15.7	P 5.4
	全国	12.2	14.6	P 11.5
為替レート(円/ドル)		99.71	97.87	99.24

品目別の主な増減  
(近畿、前年同月からの増減額順、9月)

増加	有機化合物、事務用機器、科学光学機器
減少	船舶、建設用・鉱山用機械、ガラス及び同製品



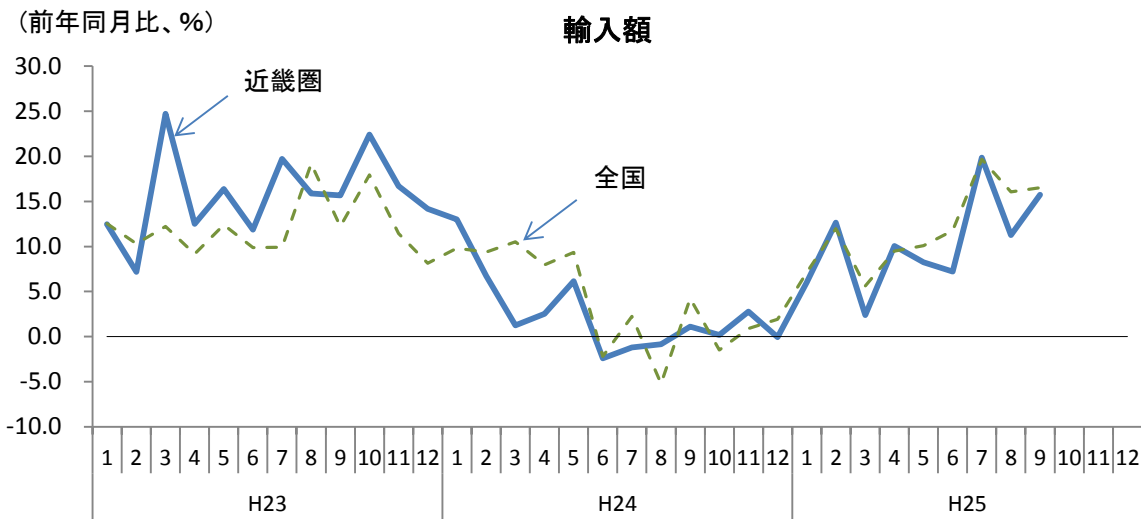
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、9月

アジア(含む中国)	6.0	7ヶ月連続の増加
中国	10.4	7ヶ月連続の増加
EU	4.1	4ヶ月連続の増加
アメリカ	1.5	9ヶ月連続の増加

## [需要] 貿易・貨物

### ○輸入額【9ヶ月連続の増加。「衣類及び同付属品」、「通信機」などが増加。】



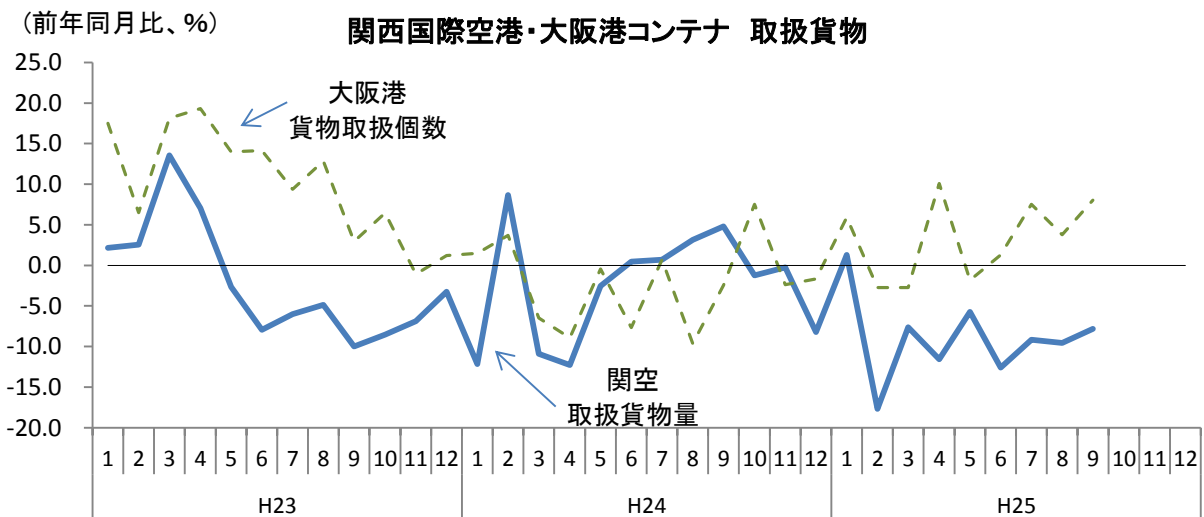
(資料)大阪税関「貿易統計」

		H25年7月	8月	9月	品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、9月)	
輸入額(億円)	近畿	13,654	P 12,482	P 12,866	増加	衣類及び同付属品、 通信機、半導体等電子部品
前年比 (%)	近畿	19.9	P 11.3	P 15.7	減少	原油及び粗油、石炭、鉄鋼
	全国	19.7	P 16.0	P 16.5		

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、9月)

アジア(含む中国)	20.0	9ヶ月連続の増加
中国	21.9	9ヶ月連続の増加
EU	34.6	9ヶ月連続の増加
アメリカ	14.5	2ヶ月ぶりの増加

### ○関空取扱貨物量【8ヶ月連続で減少】、大阪港コンテナ貨物取扱個数【4ヶ月連続で増加。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」、大阪市「港湾統計」

※関西国際空港貨物取扱量はトン、大阪港コンテナ貨物取扱個数はTEUで、外貨の実入+空の合計。

※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示す。

関空取扱貨物量		大阪港コンテナ貨物取扱個数		
	H25年7月	8月	9月	
千トン	P 54.4	P 52.9	P 195	PP 183
前年比(%)	P ▲9.2	P ▲9.5	PP 192	PP 8.0

※PPは速報値

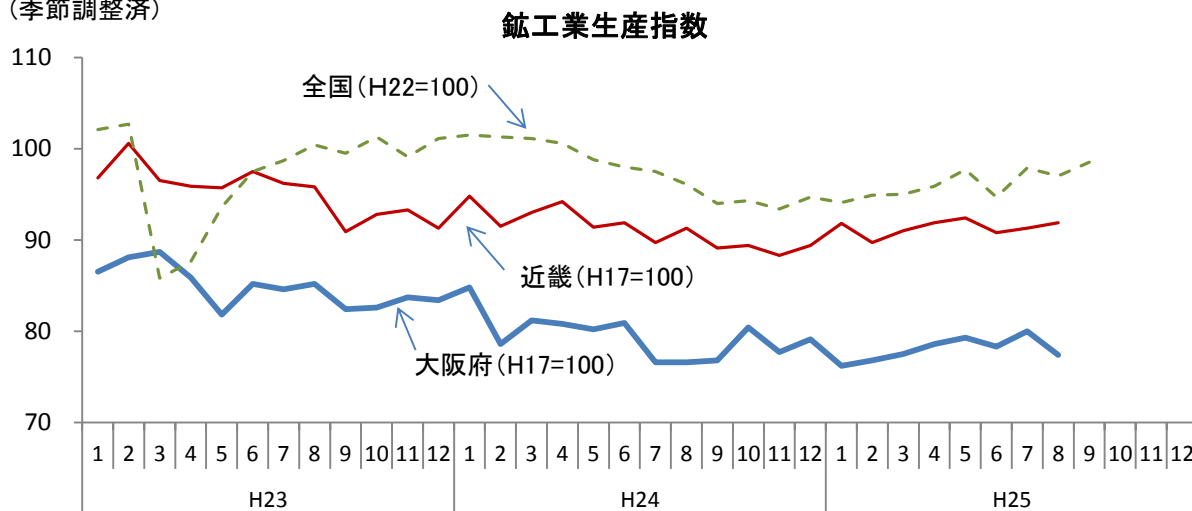


## [供給] 生産

生産動向は持ち直している。大阪府(8月)は、生産、出荷ともに低下。近畿の生産(8月)は上昇、全国の生産(9月)は上昇。在庫循環は在庫調整・在庫減らし局面。

○鉱工業生産指数【大阪府(8月)は2ヶ月ぶりの低下。「化学」、「一般機械」などが低下。近畿(8月、鉱工業)は3ヶ月連続の上昇。全国(9月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。】

(季節調整済)



(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。全国は、5月分より平成22年基準へと変更

### 産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、8月速報)

季調済	H25年7月	8月	9月
大阪府 (H17=100)	80.0	P 77.4	
近畿 (H17=100)	91.3	91.9	
全国 (H22=100)	97.9	97.0	P 98.5

上昇	<u>金属製品(7.5)</u> : 橋りょう、飲料用アルミニウム缶 <u>電子部品・デバイス(7.8)</u> : 液晶素子 <u>鉄鋼(3.4)</u> : 普通鋼冷延広幅帯鋼、亜鉛めっき鋼板
低下	<u>化学(▲12.3)</u> : ポリプロピレン、酸化エチレン <u>一般機械(▲2.3)</u> : フラットパネル・ディスプレイ製造装置、ブルドーザー <u>電気機械(▲3.8)</u> : 蛍光灯器具、セパレート型エアコン

○鉱工業出荷指数【大阪府(8月)は2ヶ月ぶりの低下。「化学」、「一般機械」などが低下。近畿(8月)は横ばい。全国(9月)は2ヶ月ぶりの上昇。】

季調済	H25年7月	8月	9月
大阪府 (H17=100)	77.1	P 73.9	
近畿 (H17=100)	91.3	91.3	
全国 (H22=100)	95.6	95.5	P 97.0

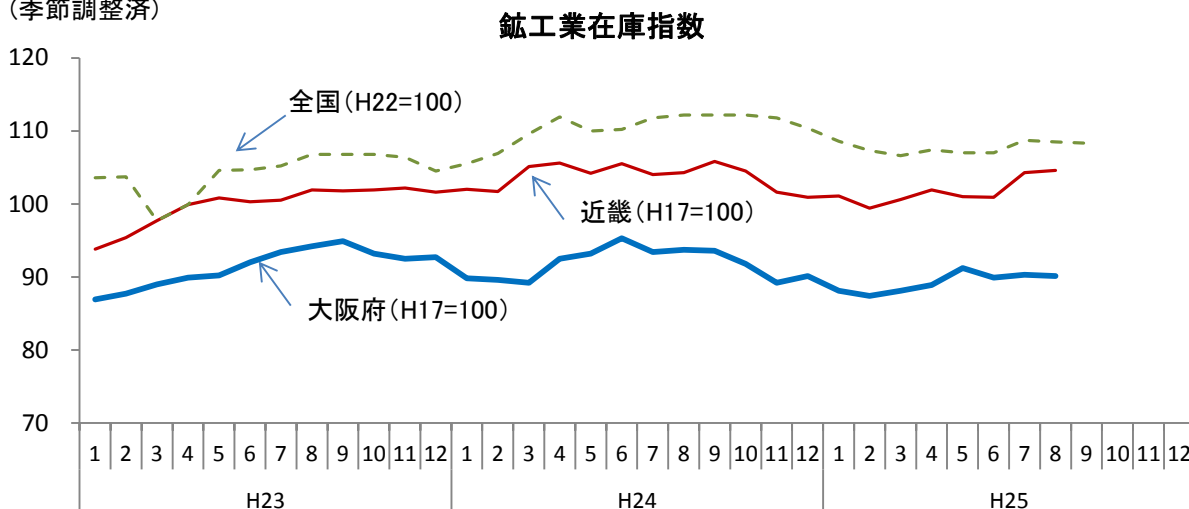
(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。全国は、5月分より平成22年基準へと変更

## [供給] 生産

○鉱工業在庫指数【大阪府(8月)は2ヶ月ぶりの低下。「化学」などが低下。近畿(8月)は3ヶ月連続の上昇。全国(9月)は2ヶ月連続の低下。】

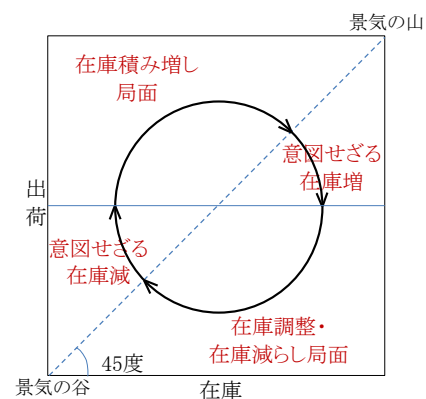
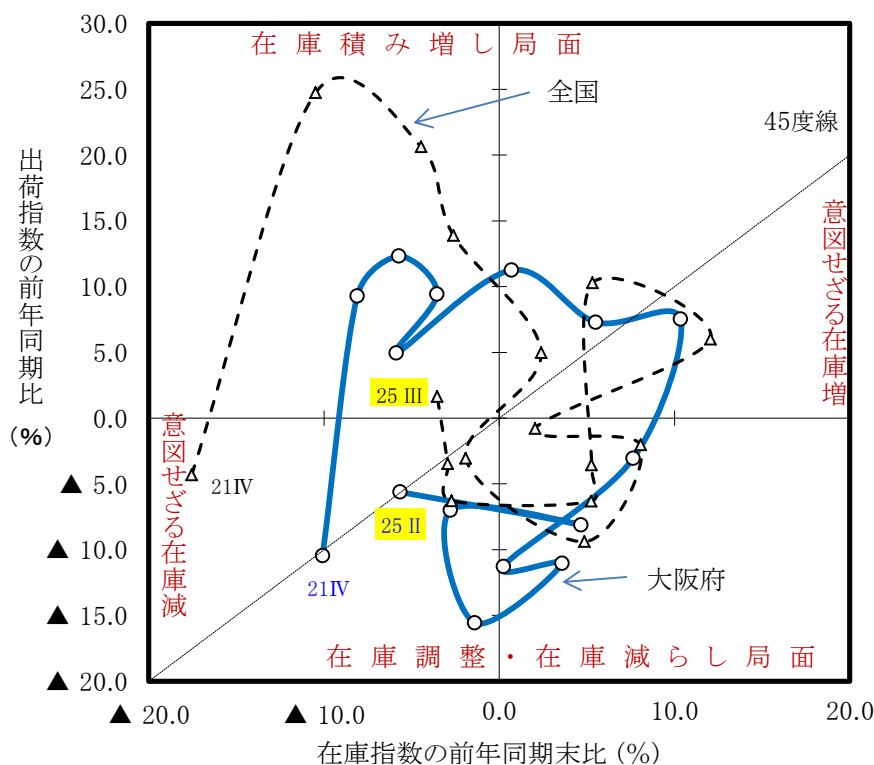
(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。全国は、5月分より平成22年基準へと変更

季調済	H25年7月	8月	9月
大阪府(H17=100)	90.3	P 90.1	
近畿(H17=100)	104.3	104.6	
全国(H22=100)	108.7	108.5	P 108.3

○在庫循環図【大阪府は在庫調整・在庫減らし局面。全国は在庫積み増し局面。】



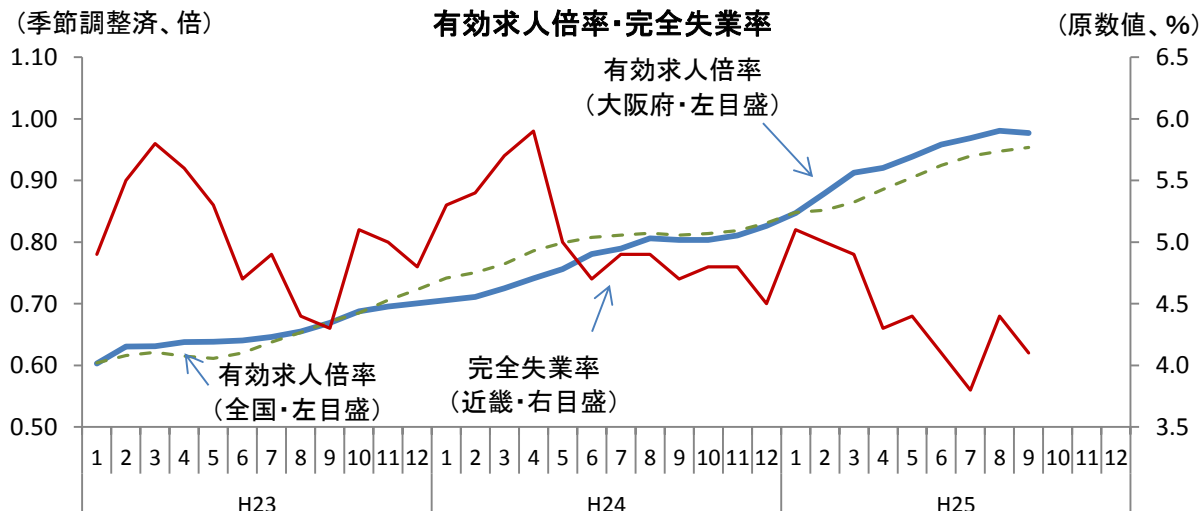
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」

※出荷指数は原数値の四半期平均。在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。全国は、5月分より平成22年基準へと変更。

## [供給] 雇用・倒産

雇用は持ち直している。所定外労働時間は増加し、近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。倒産は、件数・負債金額ともに悪化。

### ○完全失業率【近畿は前年同月差で12ヶ月連続の低下(改善)】 有効求人倍率【大阪は横ばい】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	H25年7月	8月	9月
%	3.8	4.4	4.1
前年同月差	▲1.1	▲0.5	▲0.6

完全失業率(全国、季節調整値)

	H25年7月	8月	9月
%	3.8	4.1	4.0
前月差	▲0.1	0.3	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	H24年10~12月	H25年1~3月	4~6月
大阪府	5.6	5.4	5.2
近畿	4.7	5.0	4.3
全国	4.0	4.3	4.2

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	H25年7月	8月	9月
大阪府	0.97	0.98	0.98
全国	0.94	0.95	0.95

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	H25年7月	8月	9月
大阪府	1.55	1.53	1.60
全国	1.46	1.47	1.50

若年者の有効求人倍率(大阪府、倍、9月)

24歳以下	1.04
25~34歳	1.04

(資料)大阪労働局「労働市場月報」

※就職機会積み上げ方式、パートを含む

新規求人数の主要産業別の増減  
(大阪府、前年同月比(%))、9月)

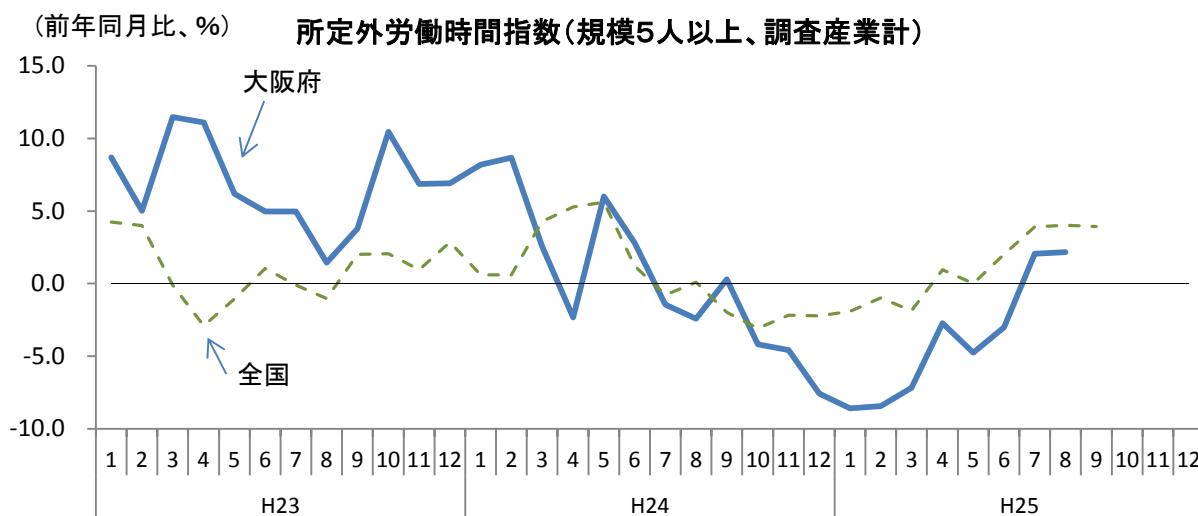
建設業	27.2
製造業	8.1
卸売業、小売業	13.1
宿泊業、飲食サービス業	34.6
医療、福祉	6.4

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用・倒産

○所定外労働時間指数【大阪府(8月)は2ヶ月連続の増加。主に「複合サービス事業」が増加。】



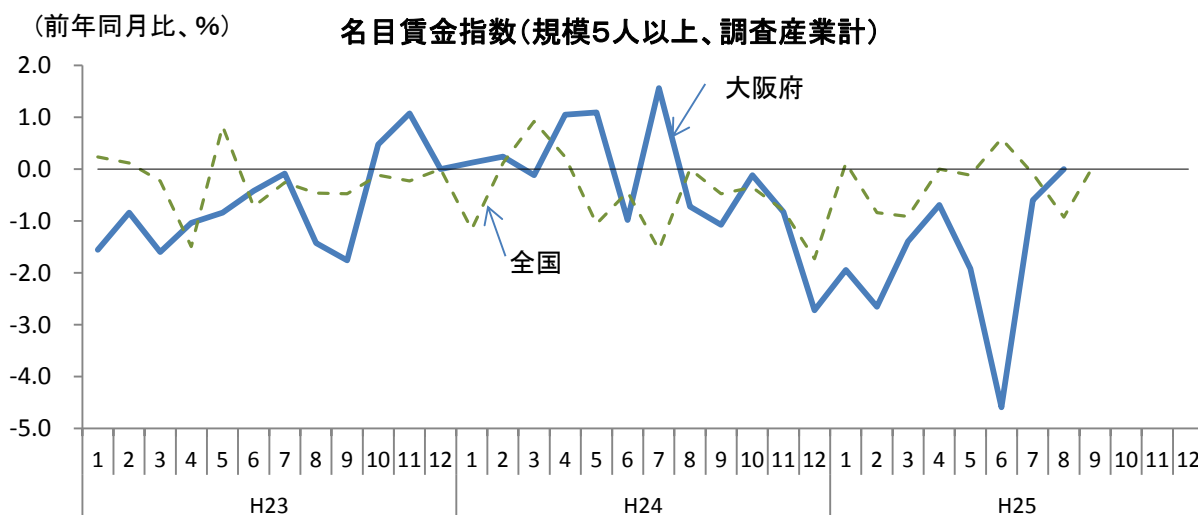
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		H25年7月	8月	9月
H22=100	大阪府	104.2	99.0	
前年比 (%)	大阪府	2.1	2.2	
	全国	3.9	4.0	P 3.9

産業別所定外労働時間の主な増減  
 (大阪府、前年同月比(%))、8月)

増加	複合サービス事業(62.4) 卸売業、小売業(15.9) 生活関連サービス業、娯楽業(15.0)
減少	教育、学習支援業(▲47.5) 製造業(▲7.9)

○名目賃金指数【大阪府(8月)は前年比横ばい。】



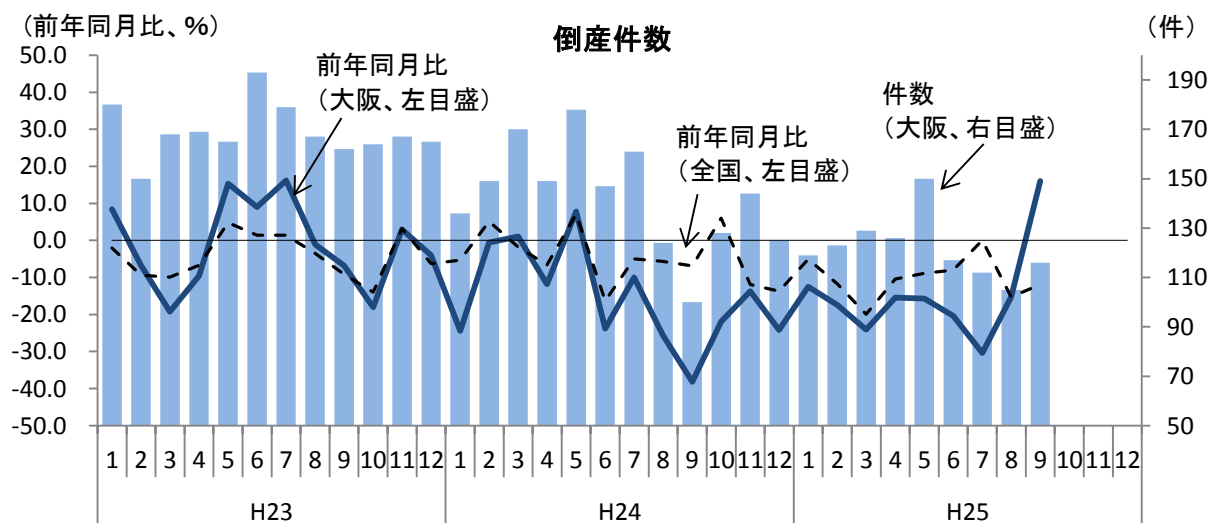
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		H25年7月	8月	9月
現金給与総額(円)	大阪府	395,202	280,107	
前年比 (%)	大阪府	▲0.6	0.0	
	全国	▲0.1	▲0.9	P 0.1

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

## [供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は16ヶ月ぶりの増加(悪化)。負債金額は2ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		H25年7月	8月	9月
件	大阪府	112	105	116
前年比	大阪府	▲30.4	▲15.3	16.0
(%)	全国	▲0.0	▲15.3	▲11.9

負債金額

		H25年7月	8月	9月
億円	大阪府	94	455	390
前年比	大阪府	▲97.2	254.8	393.5
(%)	全国	▲72.4	▲23.2	8.9

主要業種の倒産件数(大阪府)

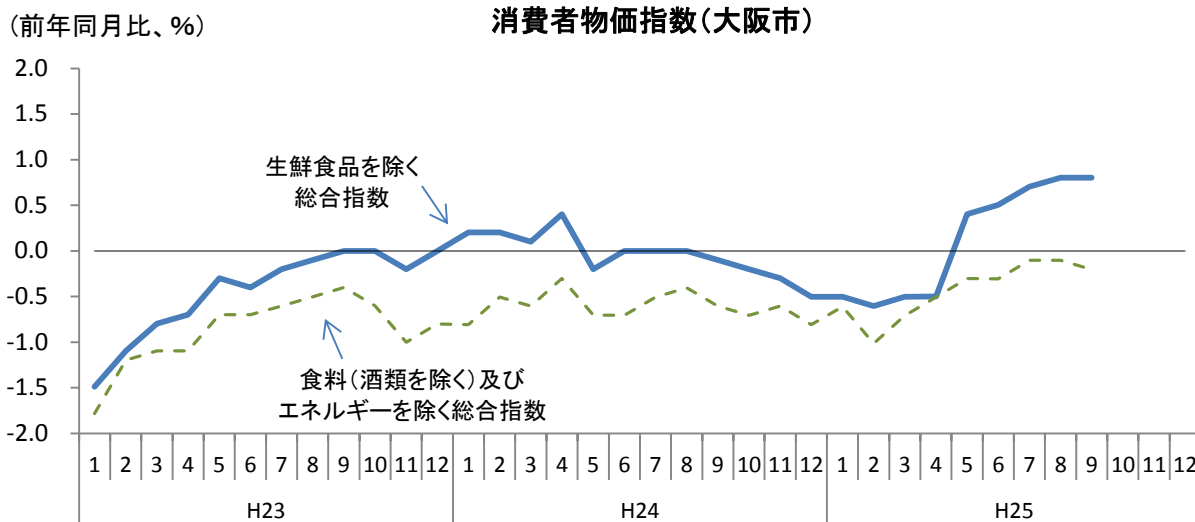
	H25年7月	8月	9月
建設業	26	21	23
製造業	20	16	24
卸売業	19	17	21
小売業	15	7	10
サービス業	25	25	26

主な倒産(大阪府、9月)

業種	負債額 (百万円)	倒産原因
看護師向け衣料ほか販売	13,431	放漫経営
商業印刷ほか	10,000	販売不振
家庭用品・ガーデニング用品卸	4,000	販売不振
家庭用品・ガーデニング用品卸	1,500	他社倒産の余波
射出成形品、省力化装置製造	1,300	過小資本
攪拌機・各種機械製造	1,300	販売不振
合成樹脂加工	1,250	既往のシワ寄せ

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 5 ヶ月連続で上昇。「光熱・水道」、「食料」、「交通・通信」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は 54 ヶ月連続で低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		H25年7月	8月	9月
指数	大阪市	100.1	100.3	P 100.4
前年比 (%)	大阪市	0.7	0.8	P 0.8
	全国	0.7	0.8	0.7

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

		H25年7月	8月	9月
指数	大阪市	98.2	98.3	P 98.3
前年比 (%)	大阪市	▲0.1	▲0.2	P ▲0.2
	全国	▲0.1	▲0.1	0.0

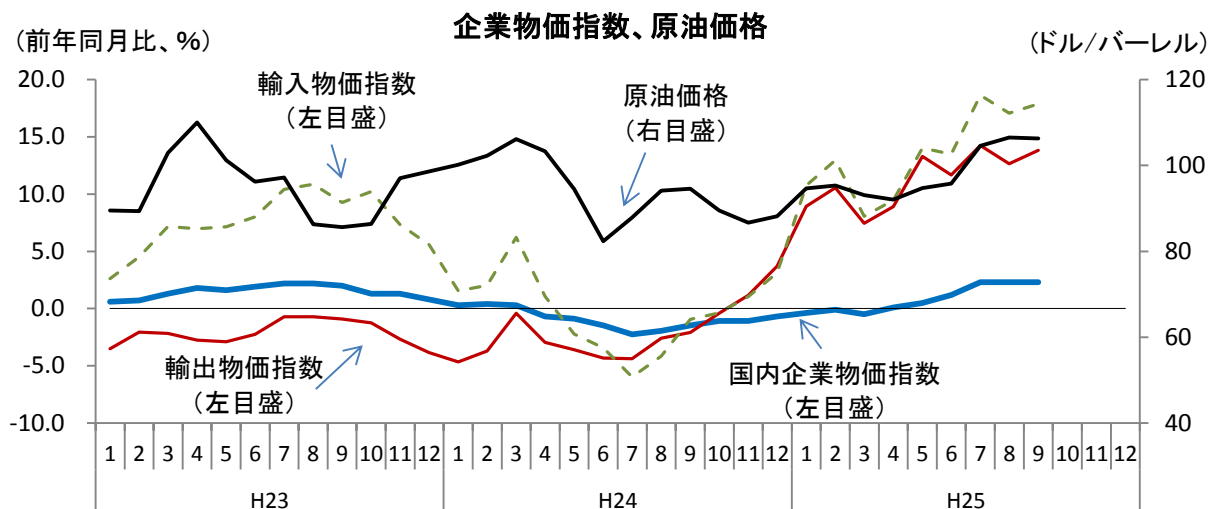
主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、9月速報)

上昇	光熱・水道(9.2): 電気代、他の光熱 食料(1.3): 野菜・海藻(きゅうり、えだまめ、なす)、魚介類(さんま、いわし、鰹節) 交通・通信(1.3): 自動車等関連費(カーナビゲーション、自動車保険料(自賠責))
低下	被服及び履物(▲2.1): シャツ・セーター類(男性セーター、婦人Tシャツ(長袖))、洋服(女兒スカート、婦人スラックス(冬物、婦人上着))

## [その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数、輸出物価指数、輸入物価指数はすべて上昇。原油価格は下落。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数 (前年同月比 (%))

	H25年7月	8月	9月
国内企業物価指数	2.2	2.3	P 2.3
輸出物価指数	14.3	12.6	P 13.8
輸入物価指数	18.7	17.1	P 17.9

原油価格 (WTI)

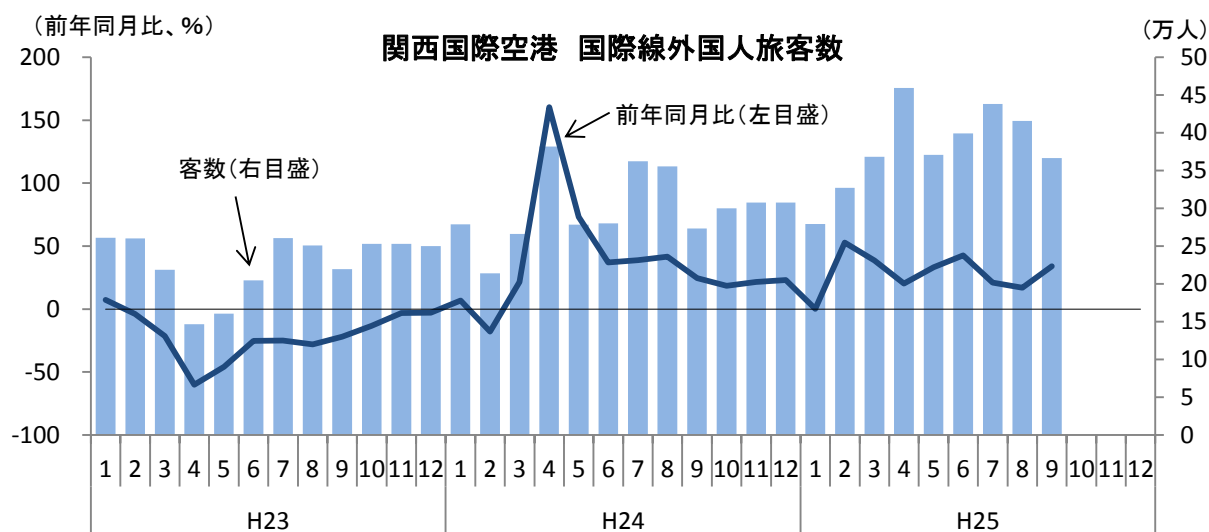
	H25年7月	8月	9月
ドル/バーレル	104.55	106.55	106.31

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した  
主な類別・品目 (9月速報、寄与度 (%))

電力・都市ガス・水道 (0.08) :  
業務用高圧電力、産業用高圧電力、  
産業用特別高圧電力、  
農林水産物 (0.04) :  
鶏卵、牛肉、塩さけ  
石油・石炭製品 (0.03) :  
鉄くず、古紙

## [その他] 観光

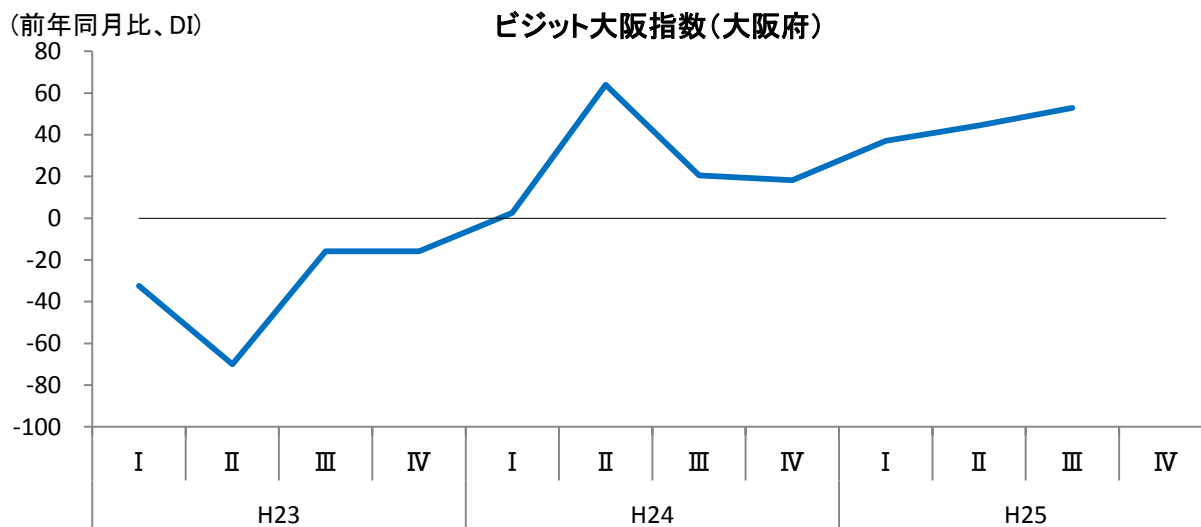
### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【19ヶ月連続で増加】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

	H25年7月	8月	9月
万人	P 43.8	P 41.6	P 36.7
前年比(%)	P 21.0	P 17.0	P 34.1

### ○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、7～9月期は前回調査より上昇。】



(資料)大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%)－「不調」の割合(%)。

	H25年 1～3月	4～6月	7～9月
業況判断DI (前年同期比)	37.1	44.4	52.9